

最優秀賞

芽吹き始めた心



「ロシアもウクライナも両方悪いは不適切」

私はSNSでこのツイートを目にしました。ウクライナの行動は個別的自衛権の行使、つまり、攻撃を受けた国が防衛のために武力に訴える権利に基づくものだと思え、ロシアが悪いと主張していました。

私はこの考えが本当であるかを確かめるために、戦争が始まった経緯を調べました。関係している同盟は大きく分けてアメリカを中心とするNATOと、ロシアを中心とするWPOの二つでした。しかし、一九九一年の旧ソ連の崩壊により、WPOは解散することになりました。その後、WPOに加盟していたほとんどの国が次々とNATOに移っていきました。ウクライナはソ連崩壊後、ソ連から独

原町第三中学校 三年

杉 陽 向



立した国です。ウクライナもNATOに加盟したいと言い出し、ロシアは加盟を阻止するべく攻撃を始めました。

この経緯から私はまだ、ロシアとウクライナのどちらが悪いのか判断できませんでした。ウクライナがNATOに入りたいという気持ちも分かりますし、ロシアの攻撃から国民を守るために、自衛的措置をとったことも理解しました。しかし、ロシアにもある程度の考えがあつてのことで、ロシアが全て悪いとは断言できないのではと思います。

一方で、ロシアがたくさんの人の命を奪ったことは事実であり、目を背けてはいけないと思います。もし自分がウクライナの立場なら、平常心を保てず、怒りが収まらないと思います。

「ロシアとウクライナ両方悪いのか」この問いに対する私の答えはまだ出ません。でも、それで良いと思いました。私がこの問題で伝えたいことは、ある問題に対してきちんと自分の意見を持つことが必要だということです。当たり前のことだともうかもしれませんが、現実には自分の意見を持たない人が多いと感じます。今の時代、インターネットが発達していますが、そこで間違った情報が流され、それをうのみにしてしまう人が大多数です。今回も同じで、個人の意見で全て納得し、それをうのみにしてしまう。その問題の真実を知らないまま。私はそういった世の中が好きではありません。正しい知識を身に付けた上で自分の意見を大切にし、それを他人と共有する。意見の違いで互いに道徳心や人間味が生まれ、成長することができる。本来、これが正しい世の在り方だと思います。しかし、現実はどうでしょうか。誰も彼もが同じ意見で、違う意見を持つ人は白い目で見られる。そういった世の中を変えていくべきだと私は思います。

今回取り上げた「ロシアとウクライナの戦争問題」についても、私個人の意見だけではなく、他の人の意見や自分の意見を取り入れて考えてほしいと思いました。この問題に対して自分ができることは、被害が大きいウクライナに

お金やモノの寄付をすることです。お金の寄付は、必要な支援活動に利用することができます。寄付は相手に自分の気持ちを送ることです。私はウクライナの人々に温かい気持ちを届けたいと思いました。

そしてロシアに対して間違った認識をせずに、この主張を通してたくさんの人に真実を知ってもらい、自分の考えを深めてほしいと思いました。人間一人一人が違う考えを持っている。それを人に合わせる必要なんて無いのです。自分らしくいるのが本来の私たちだと思います。

私は世界が一本の大きな木でできていると感じます。ある問題が芽吹き、そこから私たちの意見が咲き誇る。その問題があるとき枯れ葉となり、また新たな問題が芽吹き始めていきます。あなたはその問題に対して何を考え、どのように思いますか。そこにあなたの答えがありますか。

